



ながくてごみ減量化通信 + α

アルファ

回覧板

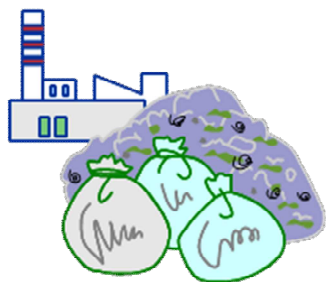
～ 令和6年6月号 ～ 長久手市役所 環境課



令和4年度の実績では1人1日あたりの家庭系もえるごみの排出量は455gでした。今年3月に策定した長久手市一般廃棄物処理基本計画（裏面QRコード参照）では、令和6年度のこの排出量の目標値を448g、令和10年度の排出量の中間目標値を420gとすることを決めました。

ごみを減らさずに、放っておくと様々な問題が発生します。

埋め立て地・焼却施設
の問題



地球温暖化問題



ごみを焼却するのに多額の税金が使われています



そこで…身近にできる ごみの減量について

もえるごみ袋の中には全体の16%もプラスチック製容器包装が入っていました。【令和6年1月実施 組成調査の結果 裏面参照】これらを分別することで「もえるごみ」の量を減らすことができます。プラスチック製容器包装は資源です。もえるごみ袋の中に入れてないようにしてください。

レトルトカレーの袋、蜂蜜のチューブも水道水ですすぎ、中の汚れを軽く流します



これらは「プラスチック製容器包装ごみ収集袋（ピンク）」へ入れてください



長久手市

もえるごみ
収集袋

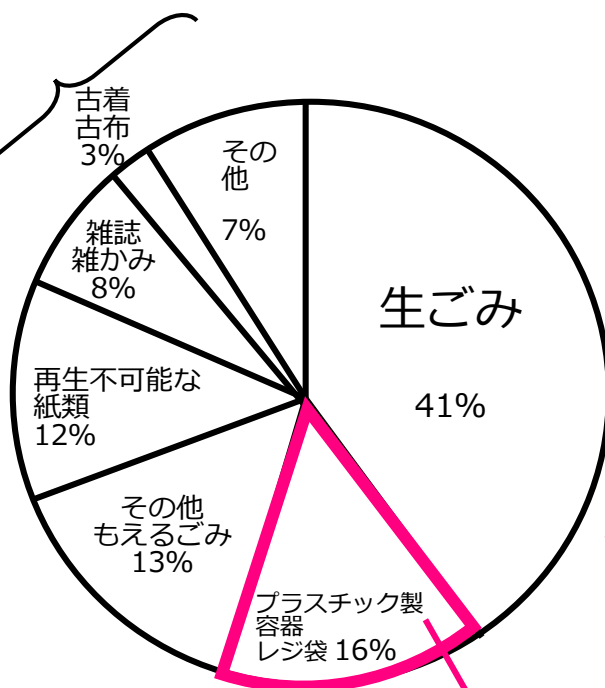
そせいちょうさ 家庭から出るごみ袋の組成調査の結果

これらも
分別して減らすこと
ができる資源です。



こちら

長久手市一般廃棄物処理基本計画



プラスチック制
容器包装ごみは
ピンクのごみ収
集袋へ入れてく
ださい。



カラス
ガバ様 (ガマ)

プラス
チック包
み袋
収集
袋

ピンク色

分別して減らすこと
ができる資源

組成調査とは、市内の家庭から出た「もえるごみ袋」をサンプルとして職員がごみ袋を開封し、中のごみを改めて分別し、分別項目ごとの比重を調べることです。今回の調査は令和6年1月に実施しました。

「親子パソコン分解教室」開催のお知らせ

夏休みの
自由研究に！

8月6日(火)午後2時から、ながくてエコハウスで「親子でパソコン分解教室」を開催します。使われなくなったパソコンを分解し、リサイクル可能な資源を探します。詳細は、広報ながくて7月号に掲載しますのでそちらをご覧ください。

提案に感謝、市民の声から長久手を変えよう



長久手市 ゼロカーボンシティ宣言



発行元 長久手市役所くらし文化部環境課
TEL0561 - 56 - 0612 (ダイヤル)

「ごみ減量化通信+a」の感想、ご意見など、お便りを募集しています。なお、いただいたお便りは、紙面に掲載させていただく場合がありますことをご了承ください。